

こっこめ通信 03 2014

「自然の厳しさ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

2月はニュースや天気予報などで「南岸低気圧」「八丈島」というキーワードが度々出てきました。この2つの言葉が登場すると関東地方は雪、八丈島は大時化になります（島は南寄りの風のため大雨）。8日と15日はこの南岸低気圧が八丈島付近を通過し、関東甲信越地方は大雪になり大変な被害が出てしまいました。今年はこの2回だけではなく何度も島の近くに低気圧がやってくるため、雨の多い2月になっています。

さて、今回は『「ウミガメにあいたい」』「今年はこんな鳥が来ました」「残念な結果になってしまいました」についてのお話です。

「ウミガメにあいたい」

八丈島の周辺にはたくさんのアオウミガメが生息しています。ダイビングをすれば、出会える確率はかなり高く、体験ダイビングやスノーケリングでも見られるほどです。そこで2月下旬より、ビジターセンターではウミガメに関する新しい展示を開始しました。「ウミガメにあいたい」と名付けた展示は、ウミガメのことを知ってもらい、ウミガメに会いたくなって、海へ行ってみたいくなる。そんな展示です。

「ウミガメって?」「オス?メス?」「ウミガメの産卵」「ウミガメ4種の特徴と見分け方」「ウミガメを食べる?」「東京都島しょ農林水産総合センターへ行ってみよう!」「さあ、海に出かけよう!」のパネルを掲示しています。また、フォトフレームでは、八丈島で撮影したアオウミガメの映像を流しているので、海に潜った気分も味わえます。さらに、海の中で見つけたウミガメの骨は実際に触れるようにしています。

そしてパネル展示を見た後には、ビジターセンター内にある2匹のアオウミガメの剥製をじっくりと観察して、手で触って、大きさを実感することができます。

さあ、ウミガメが身近に感じられるようになったら、すぐそこにある海へ出発です。本物のアオウミガメを探しに出かけましょう!



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

今年はこんな鳥が来ました！

この冬は、渡ってくる鳥が少なく、寂しい年となっています。そんな中、いつもの顔ぶれとは少し違う鳥の姿がチラホラと確認できましたので紹介します。



島に渡ってくるカモメ類はウミネコとオオセグロカモメの2種がほとんどで、ワシカモメやシロカモメが時々見られる程度です。写真の「ミツビカモメ」は漁港のスロープでうずくまっている姿を確認しましたが、再度見に行くと残念ながら息絶えていました。若い「カモメ」は数個体見られ、沖のテトラポットの上に留まっていた。成鳥冬羽の「セグロカモメ」が島で見られるのはとても珍しいことです。

「コアホウドリ」は、八丈小島周辺などでは見かけることがありますが、写真の個体は漁港の中に浮いていました。羽の濡れ具合から見て少し弱っているようです。1時間ほどで漁港から出て行ってしまいました。

「ノハラツグミ」は、八丈島初記録。2月中旬になって渡ってきたツグミの群れと一緒にやってきたようです。南原スポーツ公園の芝生の上で一日中、ツグミとケンカしながら餌をついばんでいました。



残念な結果になってしまいました

先月のこっこめ通信で紹介していた「八丈小島のクロアシアホウドリの繁殖」ですが、残念なお知らせが入ってきました。鳥獣保護員の森由香さんが2月1日に無人カメラの設置のため上陸したところ、**襲われたクロアシアホウドリ** 4羽の死骸があったそうです。抱卵していたペアが襲われた可能性が高く、巣には卵が残されたままになっていたということです（写真右下）。あと少しで孵化するはずだったのですが、とても残念な結果になってしまいました。

山階鳥類研究所の佐藤氏に現状の写真を見て頂いたところ、背後から襲われた形跡があることや場所を移動させていることなどから、イヌワシやオジロワシなどの大型の猛禽類ではないかとのことでした。八丈島では1923年にオジロワシが捕獲されていて、山階鳥類研究所に標本として保存されています。また、鳥島や聟島列島でも過去にクロアシアホウドリが大型の猛禽類と思われる種に襲われた事があったそうです。

今回は自然の厳しさを痛感した出来事になりました。来年以降は繁殖がうまくいくことを祈っています。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 2 月 9 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 26 年第 2 回） 参加者：沖山、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			13	モクレイシ	花
1	スズメノカタビラ	花	14	イヌビワ	実
2	ウスベニニガナ	花	15	マサキ	実
3	オオシマカンズゲ	花	16	ハチジョウキブシ	花、咲き始め
4	ツツブキ	実	17	ホウライカズラ	実の虫コブ
5	フウトウカズラ	熟した実			
6	アシタバ	実	シダ植物		
7	ノジスミレ sp.	花	1	オオタニワタリ	
8	オニタビラコ	花	2	タマシダ	
9	キラソウ	花	3	ノキシノブ	
10	シチトウスミレ	花	4	ヒトツバ	
11	ツルソバ	花と実	5	マメツタ	胞子葉が目立つ
12	ハナイバナ	花	6	ホシダ	
13	オオアレチノギク	花	7	オニヤブソテツ	
14	ハキダメギク	花	8	ハチジョウカナワラビ	
15	オオイヌノフグリ	花	9	マツバラン	胞子嚢
16	コハコベ	花	10	ハチジョウシダ	
17	イワニガナ	花	11	コハシゴシダ	
18	タネツケバナ	花と実	12	ナチシケシダ	
19	オランダミミナグサ	蕾	13	イシカグマ	
20	ツメクサ	花	14	タチクラマゴケ	紅葉
			15	オオイタチシダ	
木本			16	イノモトソウ	
1	ヒサカキ	花、咲き始め	17	ハチジョウベニシダ	
2	オオアリドオシ	熟した実	18	ホラシノブ	
3	アオキ	実の虫コブ	19	タチシノブ	
4	マンリョウ	熟した実	20	ナチシダ	植物公園初記録
5	タイミンタチバナ	蕾	21	ヤマイタチシダ	
6	ヤツデ	実			
7	ヤマモモ	雄花の蕾	今回はシダ植物 21 種を含む 58 種の植物を観察しました。スダジイの実が不作になる原因の虫コブ、「スダジイハナエダフクレフシ」は一時終息したかに見えましたが、今回、虫が脱出した後の虫えいが地面に落ちているのが非常に目立ち、相変わらず大発生していることが確認できました。		
8	モチノキ	花、咲き始め			
9	オオバヤシャブシ	雄花の蕾			
10	ヤブツバキ	花			
11	ガクアジサイ	実			
12	ホルトノキ	実が残る			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、園内に落ちている虫こぶの「スダジイハナエダフクレフシ」にスポットを当ててみたいと思います。



スダジイハナエダフクレフシ

スダジイタマバエによって形成される虫えい（虫こぶ）で、以前はスダジイエダドングリフシと呼ばれていました。

ブナ科のスダジイの花序（果序）にスダジイタマバエが産卵して、虫えいができます。虫えいの中で成長した幼虫は 12 月に脱出し、残った虫えいは春までにすべて落下します。

2014 3 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
						● 1 ガイドウォーク 05:32 11:15 17:09 23:32
2 ガイドウォーク 06:01 11:51 17:54	3	4	5	啓蟄 6	7	☾ 8 ガイドウォーク 08:33 02:24 23:19 16:05
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 09:07 02:48 17:27	10	11	12	13	14	15 ガイドウォーク 特別講演会 「八丈小島の希少鳥類」 04:52 10:44 16:37 22:53
16 ガイドウォーク 05:14 11:10 17:12 23:22	○ 17	18	19	20	春分 21 ガイドウォーク 07:15 01:21 20:29 13:50	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「大里地区神社探訪」 07:43 01:54 21:28 14:35
23 ガイドウォーク 特別行事 「植物公園でお花見」 08:15 02:33 22:57 15:34	☾ 24	25	26	27	28	29 ガイドウォーク 04:21 10:18 16:21 22:33
30 ガイドウォーク 04:50 10:54 17:08 23:10	● 31					

この色の日は
特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！ 3/9（13:30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
特別講演会 「八丈小島の希少鳥類」	東京大学名誉教授の樋口広芳氏を講師に招き、小島の鳥類についてのお話です。 3/15（19:30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンターにて 参加費：無料 定員：55名
八丈学講座 「大里地区神社探訪」	毎月行っている八丈学講座。今月は、優婆夷宝明神社を中心に大里の神社を巡ります。 3/22（13:30～ 約1時間半） 中学生以上 大里地区陣屋跡 集合・解散 参加費：50円 定員：15名
春の特別行事 「植物公園でお花見」	今年もオオシマザクラの下でクッキー＆お茶でお花見をしましょう！太鼓もあるよ！ 3/23（13:30～ 約1時間半） だれでも 植物公園（日本の森）集合・解散 参加費：200円 定員：20名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2014.3.1 第154号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

この2ヶ月、自然の厳しさを痛感しました。八丈小島のクロアシアホウドリの繁殖はここまで順調にすぎていたのかもしれませんが。まだ終わったわけではないので、これからに期待しましょう。頑張れクロアシくん！（高）